

保護者の皆様

可部 つちくれの家
平成28年12月1日
施設長 米田香代子

施設だより 12月

カレンダーが最後の1枚となった12月。今年も残すところあとひと月になりました。

昨年同様、時の流れの速さを感じずにはいられません。すでに私が施設長に就任してから今日で丸3年の月日が経ちました。

この3年間私は、

①つちくれの仲間たちが日々の「労働・活動・生活」を通して、それぞれの係わりの中で互いに共育ちをすること。

②仲間一人ひとりが、『今日の自分は素敵だった。明日は、今日よりもっと素敵な自分になりたい』という願いや意欲を、その人なりに意識し、楽しく通所すること。

③それぞれの自己実現に向かって節目・節目で、一步一步前に進んでいける力を育むこと。

の三つを、特に願って職員力を借りながら、日々取り組んできました。

皆様方のお子さんの3年間の育ちはいかがででしょうか？

その一つの物差しは、先月13日に開催した『第12回つちくれ祭』での一人ひとりの姿であると思います。

ぜひ、ご家族で3年前のお子さん、祭りで見せた今の姿との「変化・発達・成長」について話し合い、「今の我が子のあのままの姿」を確認して欲しいです。

祭後の仲間たちは、「自分たちみんなで色々な事に取り組んでいこう」ととても前向きで積極的です。

その一つが、4人の仲間が立候補して『クリスマスお楽しみ会の実行委員会』を立ち上げた事です。

また、この3年間私が中心に行ってきた『朝の会・帰りの会』の進行・報告係りを、今週から自治会委員と各クラスからの代表メンバーが担い行っています。

つちくれは職員指導型から仲間主導型へと進化してきています。本当につちくれの仲間は素敵ですよ。

私たちを含め、人間は全て「発達途上の人」だと思っています。だから皆よりよい自分作りを願って生きているのですね

素敵に発達・成長した仲間たちの更なる育ちに向け、私たち職員には、また多くの新たな課題が生れたようです。

今後も仲間を中心に据えた、社会福祉法人・清流『つちくれの家』作りに職員一同取り組んでいきたいと思っています。

皆様方の暖かいご理解・ご協力をこれからもよろしくお願いいたします。